

ワークショップの進め方(第6回では、前回に引き続きグループワーク3を行います)

資料 10

グループワーク1

各グループ別に考えてみてください。

「暮らしやすさ」のある町とはどんな状態の町ですか？

「健康」な町とはどんな状態の町ですか？

「家族」が元気な町とはどんな状態の町ですか？

「つながり」のある町とはどんな状態の町ですか？

「働く」ことができる町とはどんな状態の町ですか？

「学ぶ」ことができる町とはどんな状態の町ですか？

グループワーク2

「ライフステージ別の問題」シートの各問題をグループ化してください。

グループ名は「参考グループ名(黄色の用紙)」を活用ください。「参考グループ」以外のグループ名でもOKです。(手書きで書いてください)

グループ化ができればテープで貼って固定してください。

グループワーク3

①さて、みなさんは今から約10年後(2030年頃)に住む東員町民です。(人口減少、少子高齢化など様々な面で変化していると考えられます)

先程グループ化した問題が今でも全く改善されていません。

優先して取り組むべきグループを1つ選んで下さい。

②選んだグループ名が「課題」表現になっていない場合は、表現を変換してください。

例「消防・防災」→「消防・防災対策の**充実**」

「観光」→「観光**事業の向上**」

③その課題名をマンダラートの中心(赤1)に記入します。

そして、**その周囲にその課題を克服するための手段を考え、フセンで貼っていきましょう。(2~9)**

④周囲(2~9)が埋まったら、そのさらに周囲に移動し議論を深めます。2~9までの手段をその周囲の中心に記入し、次はその手段について**様々な担い手ができることを考えてみましょう。**フセンには**担い手**も記入してください。

マンダラート

